

平成 19 年度国際学術コミュニケーション委員会 活動報告

1. GIF プロジェクト活動報告

1 GIF プロジェクト会議等開催状況

- ・平成 19 年 10 月 16 日，NII 及び紀伊国屋書店 OCLC センターとの日米 ILL/DD 実務運用（料金決済上の課題）に関する打合せ（東京大学）を開催した。
- ・日米及び日韓 ILL/DD の実務運用上の諸問題解決のため，電子メール等による協議及び意見交換を実施した。

2 活動概要

(1) 日米 ILL/DD プロジェクト

GIF プロジェクト参加状況

参加機関数は平成 19 年 10 月 5 日現在で日本側 123 機関，137 図書館（内訳：国立大学 60 機関 72 図書館，公立大学 4 機関 4 図書館，私立大学 53 機関 55 図書館，大学共同利用機関等 6 機関 6 図書館），北米側 56 機関，59 図書館であり，平成 19 年 5 月以降日本側 2 機関 3 図書館，北米側 2 機関 2 図書館の増加となっている。

現物貸借サービス参加状況

現物貸借サービスの参加状況は，平成 19 年 10 月 5 日現在で，日本側 69 機関，73 図書館（内訳：国立大学 37 機関 39 図書館，私立大学 27 機関 29 図書館，公立大学 3 機関 3 図書館，大学共同利用機関等 2 機関 2 図書館），北米側 31 機関 33 図書館であり，平成 19 年 5 月以降，日本側 1 機関 1 図書館の減少，北米側 1 機関 1 図書館の増加となっている。

日米 ILL/DD 実施状況

平成 19 年度 4 月～9 月の日米 ILL/DD の実施状況は，表 1 のとおりである。前年度同時期に比べ，依頼件数で 36.8%増，受付件数は 29.7%増加した。日本側受付分の謝絶件数が多くなっているが，謝絶率は平成 18 年度と同程度である（72.4%（16 年度）56.8%（17 年度）66.7%（18 年度）66.3%）。一方，日本側依頼分の謝絶率が上昇傾向にあり注視の必要がある（45.1%（17 年度）51.4%（18 年度）58.6%）。

表 1 日米 ILL/DD 実施状況（平成 19 年 4 月～平成 19 年 9 月）

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	335	444	0	779	172	275	0	447
現物貸借	67	125	0	192	56	174	0	230
合計	402	569	0	971	228	449	0	677

ただし、受付分については、「受付図書館」複数館指定の1依頼レコードの場合でも、「OCLCレコード単位」(つまり、「1件として」)ではなく、「受付図書館単位」の処理結果を掲載している

NCC ILL/DD Committee の新体制について

7月をもって、以下のとおり、NCC ILL/DD Committee メンバーの交代があった。Ms. Sharon Domier (マサチューセッツ大学) 及び Ms. Kathryn Ridenour (同) については、2007年7月にて任期満了。

(Mr.) Hiroyuki Nagahashi Good, Japanese Bibliographer

University of Pittsburgh (任期：2007年8月 - 2010年7月)

(Ms.) Patricia Duff, Head of Interlibrary Loan Department and Storage Facility

University of Pittsburgh (任期：2007年8月 - 2010年7月)

(Ms.) Margaret Ellingson, Team Leader, Interlibrary Loan

Emory University (任期：2006年2月 - 2008年12月)

(Ms.) Michelle Foss, Interlibrary Loan Librarian

University of Florida (任期：2006年2月 - 2008年12月)

(Mr.) Hitoshi Kamada, Japanese Studies Librarian

University of Arizona (任期：2006年4月 - 2008年12月)

(Ms.) Su Chen, Head of East Asian Library

University of Minnesota (任期：2007年1月 - 2009年12月)

(Ms.) Cherie Weston, Head, Interlibrary Loan

University of Minnesota (任期：2007年8月 - 2010年7月)

(Ms.) Amy Paulus (co-chair), Head, Access Services

University of Iowa (任期：2007年1月 - 2009年12月)

(Ms.) Chiaki Sakai (co-chair), Japanese Studies Librarian

University of Iowa (任期：2004年3月 - 2009年12月)

(2) 日韓 ILL/DD プロジェクト

GIF プロジェクト参加状況

平成19年10月5日現在、日本側参加館は、81機関99図書館(国立47機関62図書館、私立28機関31図書館、大学共同利用機関等6機関6図書館)、韓国側参加館は、246館となっている。平成19年5月以降、日本側で5機関5図書館、韓国側で7機関7図書館の増加となっている。

日韓 ILL/DD 実施状況

日韓 ILL/DD は平成16年11月から暫定サービスが開始され、平成19年4月からは ISO ILL システム間リンクによる本格運用に移行している。前年度同時期に比べ、依頼件数は若干減少、受付件数にあっては、42.8%増で高い上昇率を保っている。ただし、依頼・受付双方とも、謝絶率が上昇傾向にあり、それぞれ27.8%、29.7%の割合となっている。平成19年度4月～9月の利用状況を表2に示す。

表2 日韓 ILL/DD 実施状況（平成 19 年 4 月～平成 19 年 9 月）

	依頼件数				受付件数			
	完了	謝絶	その他	計	完了	謝絶	その他	計
文献複写	26	10	0	36	912	385	0	1,297

3 今後の課題

- (1) 日韓 ILL/DD プロジェクトの本格運用，現物貸借の実施
- (2) 日米 ILL/DD の改善と国際 ILL 担当者のスキルアップ方策
- (3) GIF 参加館の範囲の拡大について
- (4) 北米以外の国々との国際 ILL の展開
- (5) デジタルリソースの形成・流通に関する日米の連携・協力